

## 元気な釧路創造交付金 実施報告書

## 1 実施内容

|           |   |
|-----------|---|
| 団体名       | 一般社団法人くしろソーシャルデザインネットワーク  |
| 事業名       | 釧路再生可能エネルギーまちづくり戦略会議  |
| 課題テーマ     | 域内循環、地域を担う人材育成  |
| 事業実施の背景   | <p>釧路市は、釧路湿原や阿寒湖などに代表される自然を地域資源とし観光産業をはじめとする様々な産業がその恩恵を受けている。また、太陽光、森林など再生可能エネルギー資源に恵まれた地域でもある。</p> <p>釧路市にとって、今の自然環境を維持し持続的なまちづくりを進めるためには再エネ事業の導入と普及が重要であり、また再エネを活用しエネルギーを地産地消することは安全・安心なまちづくりを進める上からもとても重要である。</p> <p>単に再エネを普及したとしても、これはスレートに地域活性にはつながらない。再エネで得られた利益を地域に還元する仕組みがあつて初めて地域が活性化する。</p> <p>しかし、釧路市には多くのメガソーラーが設置されたが、その設置主体は市外の業者がほとんどであり、その利益は市外に漏れてしまっている。</p> <p>また、現在のところ、釧路市内の市民、非営利組織、各種地域組織等が主体となった地域貢献・活性化（以下、まちづくり）を併せ持った再エネ導入事業はそれほど活発ではなく、再エネで得られる利益が十分地域内に還元されているという状況にもない。この背景には、地域内で再エネ普及の担い手となる市民レベルの人材やノウハウも不足していることが考えられる。さらには、釧路市として再エネ普及に関して分野・主体を跨いだ総合的な戦略が不足していることも重要な課題と認識している。</p> <p>以上から、今後、釧路市では、多様な主体が集まり、地域の再エネ普及とそれによる地域活性化の戦略について学習、議論すること、担い手となる人材を育成することが求められる。</p> |
| 事業目的の達成状況 | <p>① 市民レベルでの再エネ導入・普及意識の向上</p> <p>② 地域活性化を併せ持った再エネまちづくりの気運の向上<br/>⇒連続勉強会、シンポジウムに多くの釧路市民に参加いただいた（延べ参加者数 154 名）ことから、再エネ導入・普及意識の向上、再エネまちづくりの気運向上を図ることができた。</p>  |
| 事業概要      | <p>① 地域づくり型再エネ事業に関する全国各地の先進事例を学ぶ一般公開型の連続勉強会（3回）、シンポジウム（2回）を開催</p>   |

|         |  |
|---------|--|
|         | <p>② 学習会、シンポジウム参加者の有志が集まり、釧路市における再エネ普及のあり方、持続可能な地域づくりについて議論し、提言を作成する研究会を開催</p> <p>③ 釧路市における持続可能な地域づくりを併せ持った再エネ普及の戦略について提言「釧路市における再生可能エネルギー事業・政策の推進に向けた提言」の作成</p>   |
| 事業の実施状況 | <p>■シンポジウム、学習会の開催</p> <p>○シンポジウム（以下、シンポ）</p> <p>&lt;第1回シンポ（9月15日）&gt;</p> <p>○日時：9月15日（月・祝日）13：00～16：30</p> <p>○会場：北海道教育大学釧路校 502 教室</p> <p>○プログラム</p> <p>(1) 基調講演① 「再生可能エネルギー普及による地域発展」<br/>講師：自然エネルギー市民の会 代表 和田 武 氏</p> <p>(2) 基調講演② 「エネルギーから地域づくりを考える」<br/>講師：一般社団法人徳島地域エネルギー理事・事務局長 豊岡 和美 氏</p> <p>(3) パネルディスカッション<br/>「再生可能エネルギーから創る元気なまち・釧路」<br/>パネリスト：和田武氏、豊岡和美氏、松本淳氏（釧路市環境保全課課長補佐）、荒井剛（くしろソーシャルデザインネットワーク代表）<br/>コーディネーター：平岡俊一（くしろソーシャルデザインネットワーク代表、北海道教育大学准教授）</p> <p>○参加者数：46名</p> <p>&lt;第2回シンポ（3月14日）&gt;</p> <p>○日時：3月14日（土）13：00～16：30</p> <p>○会場：交流プラザさいわい 3階大ホール</p> <p>○プログラム</p> <p>(1) 基調講演 「持続可能な地域づくりと再生可能エネルギー」<br/>講師：同志社大学大学院総合政策科学研究科教授 新川 達郎 氏</p> <p>(2) 提言</p> <p>(3) 蝦名市長挨拶</p> <p>(4) パネルディスカッション<br/>「再生可能エネルギーから創ろう元気なまち・釧路」<br/>パネリスト：新川達郎氏、相座聖美氏（釧路モカ女性プロジェクト事務局長）、米本侑介氏（株式会社カイトー商会専務取締役）、平岡俊一（くしろソーシャルデザインネットワーク代表、北海道教育大学准教授）<br/>コーディネーター：荒井剛（くしろソーシャルデザインネ</p> |

|                  |  |
|------------------|--|
|                  | <p style="text-align: center;">ットワーク代表)</p> <p>○参加者数：38名<br/> ○学習会：3回開催<br/> &lt;第1回&gt;<br/> ○日時：11月16日(日)13:30~15:30<br/> ○会場：釧路市民活動センターわっと・第3会議室<br/> ○プログラム<br/> (1)「自治体による再生可能エネルギー政策の動向とあり方」<br/> 講師：平岡俊一(くしろソーシャルデザインネットワーク共同代表/北海道教育大学釧路校准教授)<br/> (2)「札幌市におけるエネルギー政策」<br/> 講師：渡辺誠氏(札幌市市長政策室政策企画部エネルギー政策統括担当係長)</p> <p>○参加者数：22名<br/> &lt;第2回&gt;<br/> ○日時：12月7日(日)13:30~15:30<br/> ○会場：釧路市民活動センターわっと・第3会議室<br/> ○講師：鈴木亨氏(NPO法人北海道グリーンファンド理事長)</p> <p>○参加者数：23名<br/> &lt;第3回&gt;<br/> ○日時：2月7日(土)13:30~15:30<br/> ○会場：釧路市民活動センターわっと・第3会議室<br/> ○プログラム<br/> 「下川町における再エネまちづくり事業の展開」<br/> ○講師：仲埜公平氏<br/> (下川町環境未来都市推進課グループリーダー)</p> <p>○参加者数：25名<br/> ■研究会の開催と提言書の作成<br/> ・上記学習会の終了後及び別途、学習会参加者の有志が参加した研究会を4回開催。<br/> ・学習会、シンポで得られた知見と釧路市内の現状を踏まえながら、釧路市における地域づくり型再エネ事業の戦略について議論し、市に対する提言を作成。提言は第2回シンポで発表し、蝦名大也釧路市長に手交。</p> |
| <p>成果目標の達成状況</p> | <p>・釧路市における地域づくり型再エネ戦略に関する提言の作成、公表<br/> ⇒「釧路市における再生可能エネルギー事業・政策の推進に向けた提言」を作成し、蝦名釧路市長に手交。<br/> ・釧路市内で地域づくり型再エネ事業に取り組む意欲をもつ人材の発掘・育成ならびに人材間のネットワークの構築<br/> ⇒勉強会・シンポを通して、意欲のある方とネットワークを持つことができた。また、シンポの講師を通して、新たなネットワークを構築することができた。</p>  |

|           |   |
|-----------|---|
| 波及効果の達成状況 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 釧路市内での地域づくり型再エネ事業の活発化</li> <li>・ 釧路市における地域づくり型再エネ事業戦略に関する政策の整備</li> <li>・ 再エネ導入・普及を通じた釧路市の社会・経済活動の活性化<br/>⇒「釧路市における再生可能エネルギー事業・政策の推進に向けた提言」を作成し、蝦名釧路市長に手交したことにより、平成27年度以降の取組において、波及効果が見込める。</li> </ul>       |
| 実施体制      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業申請主体である一般社団法人くしろソーシャルデザインネットワークが事務局を務めた（シンポを北海道教育大学釧路校ESD推進センターと共催）</li> <li>・ 事業遂行にあたっては、釧路市役所環境保全課、大学（北海道教育大学釧路校）との連携を図った</li> <li>・ 市民環境部環境保全課にはシンポジウムにおいてパネラーとして出席いただき、また市長のスケジュール調整をお願いした。</li> </ul> |
| 連携した市担当課  | 有（市民環境部 環境保全課）  |

## 2 支出決算書と支出内訳

### （収入）

| 費目         | 決算額（円）  | 内訳 |
|------------|---------|----|
| 元気な釧路創造交付金 | 300,000 |    |
| 自己資金       | 950     |    |
| 合 計        | 300,950 |    |

### （支出）

| 費目       | 決算額（円）  | 内訳     |
|----------|---------|--------|
| 対象経費     |         |        |
| 人件費（報償費） | 130,000 | 別紙のとおり |
| 旅費       | 170,950 | 別紙のとおり |
| 小 計      | 300,950 |        |
| 対象外経費    |         |        |
| なし       |         |        |
| 小 計      | 0       |        |
| 合 計      | 300,950 |        |

## 0 釧路再生可能エネルギーまちづくり戦略会議の趣旨

釧路周辺は再生可能エネルギー資源に恵まれた地域である。しかし、残念ながら現時点では、それを活用して地域社会の発展につなげることを意図した取り組みは十分ではない。今後、釧路地域での再エネを活かしたまちづくりの方策について考え、提言を作成・公表することを目的に、道内各地で先駆的に再エネ事業に取り組む関係者を講師として招いたシンポジウム(2回)と連続学習会(3回)を開催した。

## 1 シンポジウムの開催

### (1) 第1回シンポジウム「再生可能エネルギーから創る元気なまち・釧路」

再生可能エネルギーに関する国内外の動向や市民参加で地域活性化につながる太陽光発電「コミュニティハッピーソーラー」の導入が展開されている徳島の事例などをもとに、釧路における持続可能な地域づくりに貢献する再生可能エネルギー導入のあり方について議論を行った

○日時:9月15日(月・祝日)13:00~16:30

○会場:北海道教育大学釧路校 502 教室

○プログラム

(ア)基調講演①「再生可能エネルギー普及による地域発展」  
和田武氏(自然エネルギー市民の会代表、経済産業省「調達価格等算定委員会」委員)



(イ)基調講演②「エネルギーから地域づくりを考える」  
豊岡和美氏(一般社団法人徳島地域エネルギー理事・事務局長)



(ウ)パネルディスカッション

「再生可能エネルギーから創る元気なまち・釧路」

パネリスト:和田武氏

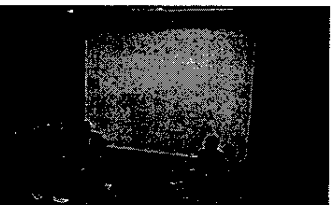
豊岡和美氏

松本淳氏(釧路市環境保全課課長補佐)

荒井剛(くしろソーシャルデザインネットワーク代表)

コーディネーター:平岡俊一

(くしろソーシャルデザインネットワーク代表、北海道教育大学准教授)



○参加者数:46名

## シンポジウム

釧路周辺は再生可能エネルギー資源に恵まれた地域です。しかし、残念ながら現時点では、地域社会の発展につながる事が期待できる取り組みは十分ではありません。今回は、国内外の動向や市民参加で地域活性化につながる太陽光発電「コミュニティハッピーソーラー」の導入が展開されている徳島の事例などをもとに、釧路での再エネ導入のあり方について議論を行います。

参加費無料 / 定員 80名 /

2014年 9月 15日(月・祝日)  
13:00 - 16:30  
北海道教育大学釧路校 502 教室  
北海道釧路市城山 1 丁目 15 番 55 号

# 再生可能エネルギーから 創る元気なまち・釧路



**主催** 一般社団法人くしろソーシャルデザインネットワーク / 北海道教育大学釧路校 ESD 推進センター

**後援** 認定 NPO 法人霧多布湿原ナショナルトラスト / 釧路信用金庫 / 釧路市 / 北海道釧路総合振興局 / 釧路新聞社 / 北海道新聞釧路支社 / FM くしろ

## プログラム

1 基調講演 13:10~

「再生可能エネルギー  
普及による地域発展」

和田武氏

自然エネルギー市民の会代表、  
経済産業省「調達価格等算定  
委員会」委員

2 基調講演 14:15~

「エネルギーから  
地域づくりを考える」

豊岡和美氏

一般社団法人徳島地域エネ  
ルギー理事・事務局長

3 パネルディスカッション 15:05~

●パネリスト

和田武氏、豊岡和美氏、松本淳氏（釧路市環境保全課）、  
荒井剛（くしろソーシャルデザインネットワーク）

●コーディネーター

平岡俊一（くしろソーシャルデザインネットワーク  
／北海道教育大学）

## 基調講演者プロフィール

和田武 わだ・たけし

1941年和歌山市生。京都大学大学院修了、工博。立命館大学教授、同特別招聘教授、2008年退職、2009～13年日本環境学会会長。著書：『現代地球環境論』『飛躍するドイツの再生可能エネルギー』『市民・地域主導の再生可能エネルギー普及戦略』『脱原発、再生可能エネルギー中心の社会へ』など多数。

豊岡和美 とよおか・かずみ

吉野川第十堰の住民投票に関わり県議会議員に。徳島県の遺伝子組み替えガイドラインや肥料の規制に関する条例づくりなどに関わった。気候変動や脱原発、地域づくりの一端として再生可能エネルギーの地域事務所を目指している。

参加  
方法

事前に FAX または E-mail で問い合わせ先までお申込み下さい。申し込みの際は、「シンポジウム申し込み」と明記の上、①氏名、②所属、③電話、④FAX 番号、⑤E-mail アドレスをお知らせ下さい。FAX で申し込みをされる場合、裏面の申込書をご利用下さい。

問い合  
わせ先

一般社団法人くしろソーシャル  
デザインネットワーク（担当：天内）

TEL：090-9513-7274

FAX：0154-31-0605

mail：kushiro.sdn@gmail.com

駐車場には限りがございますので、出来る限り、公共交通機関をご利用になるか、環境にやさしい徒歩または自転車でお越しください。